

みなみ
ネット
kagoshima
local
network

総局支局
電話番号
身近なニュー
ス、暮らし等
を幅広くお告
げください

薩摩川内
0996
23-2009
25-0778

奄美(徳之島)
0997
52-0432
52-2947

指宿
0993
22-3050
24-4463

枕崎
0993
72-0245
73-1930

南さつま
0993
52-2055
52-7712

日置
099
273-2610
273-1187

阿久根
0996
72-0126
73-3805

出水
0996
62-0057
63-2852

さつま
0996
53-0025
53-3374

日置市 脱炭素へ電動バイク通学

環境省の脱炭素先行地域に選定された日置市は1日、吹上高校の生徒に電動のバイクやアシスト自転車などを無料で貸し出し、通学してもらおう「ライドシェアリング実証事業」を始めた。来年1月末まで充電場所や走行距離などのデータを集め、課題を探る。

同校は昨年度、全生徒の7割に当たる126人がミニバイクで通学。半数の63人が電動に切り替えた場合、市の試算では二酸化炭素排出量を年間35トン削減できる。当面、12台のうち7台は生徒が1カ月間使用し、5台は生徒や職員が数時間～数日間利用する。南さつま市大浦から、約1時間かけてミニバイクで通う電子機械科2年の中尾知幸さん

は「ガソリン代がかかるため少しでも安くしたかった。乗り心地もよく、充電せず家に帰るだけでいい」と述べた。事業は国の交付金で賄われ、電動化促進の広報費などを含む事業費は約2350万円。日置市は2021年、50年までに二酸化炭素排出量

実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言。排出される温室効果ガスのうち自動車やミニバイクなどの運輸関連が半数の9.6万トンを占め、電動化により30年度排出量を13年度比で64%に減らす目標を掲げている。(宮田佳成)

1月末まで 吹上高生に無料貸与



電動バイクを貸与され、運転する吹上高校の生徒ら。日置市の同校

実証実験

南さつま市 「レベル2」自動運転バス

南さつま市は12月14日から、県内初となる自動運転バスの実証実験を始める。操作の一部をシステムが担う「レベル2」相当の実験で、市役所を起点に市街地を1日5往復する。数年後の実用化が目標。バスのラッピングデザインは、市の依頼を受けた地元の高専生が考案した。

バスは全長約4.8m、高さ約2.7mの電気自動車。ルートは約6.5kmで、所要時間は約15分。乗客は最大8人とする。車両はマクニカ(横浜市)、運行はNTT西日本鹿児島支店(鹿児島市)が担当。

実験では、走行ルートの3次元地図をもとに時速20km未満で走る。マクニカ社員がオペレーターとして乗車。駐車車両がある道路など難しい場面では人が操作する。市役所に遠隔監視拠点を設け、車内外カメラで見守る。期間は1週間。



鳳凰高生が考案した自動運転バスのラッピングデザイン。南さつま市役所

鳳凰高生がデザイン

来年度以降も実施し、無人運転可能な「レベル4」を目指す。ラッピングは、鳳凰高校のサイエンスクラブのメンバーが仮想現実(VR)を使い立体的にデザイン。正面と背面に鳳凰のデザイン。市特産のタカエビや加世田

介護職の受講料補助

南九州市は、在宅や施設で介護を担う資格の入り口となる「介護職員初任者研修」の受講料全額補助を本年度から始めた。質の高い介護サービスの維持と人材確保が目的で、初年度は9人が9月末までに修了した。1年以内に市内の事業所で勤務する。国家資格の介護福祉士になるが、県指定の養成機関で計130時間受ける必要がある。市は研修を業者に委託し、14日間の授業や介護施設での3日間の実習を市内で開く。1人8万8千円の受講料を補助した。7・9月にmarukaホール(川辺文化会館)で開く。

高校生 音楽劇はつらつ 鹿屋で「ヒメとヒコ」



はつらつと演技する高校生。鹿屋市文化会館

秋の爽やかに感謝 児童福祉体験 鹿屋市文化会館 鹿屋市文化会館は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

記者の目

「いって本気でやるんだぞ」と。日本とフランスで活躍した郷土出身の洋画家、海老原孝之助の生誕120周年記念作品展を志布志市で開く計画を1年前初めて耳にした時、正直驚いた。郷土出身の洋画家、海老原孝之助の生誕120周年記念作品展を志布志市で開く計画を1年前初めて耳にした時、正直驚いた。

松林の向こうに

「海老原孝之助が、学校の松林の向こうに行けば何とかなるという気が持てた。不可能なことが志布志。不可能なことが志布志。不可能なことが志布志。」

地域総合面投稿案内 「ありがとう」「はい元氣」「子供のうた」などの投稿方法は右のQRコードで確認できます。各コーナー専用のフォームから投稿もできます。

感謝状 南さつま市が9月30日、自動運転バス「レベル2」の実証実験に協力したマクニカ(横浜市)とNTT西日本鹿児島支店(鹿児島市)に感謝状を贈った。同社は、南さつま市役所を起点に市街地を1日5往復する。数年後の実用化が目標。バスのラッピングデザインは、市の依頼を受けた地元の高専生が考案した。

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。

6月のお田植え祭で稲の苗植えも体験した4年の津曲来胡さんは「力の入れ具合が良かった」と話した。(新聞逸平)

南さつま市役所 南さつま市役所は、秋の爽やかに感謝する「児童福祉体験」を開催した。神事の後、地元の鹿屋小学校の3、4年生14人が福刈りに取り組んだ。写真。約100坪の田んぼに入った児童は、稲を刈る姿を撮影した。今年は台風10号の影響もあったが、作柄は良好。収穫した米は日々の神事のお供えに使われる。